

～ほほえみの年輪をかさねて～  
ホワイトキューブで第48回全日本こけしコンクールが開催されました

全国各地のこけし工人在伝統の技と美しさを競い合う「第48回全日本こけしコンクール」が、5月3日から5日までホワイトキューブを会場に開催されました。



▲こけしの実演販売コーナー

内閣総理大臣賞受賞作品



桂直嗣こけし12号  
山形作並系  
会田 栄治さん作

この作品は、良質なカツラの素材が持っている美しさを存分に生かしており、調和の取れた整った形態に仕上げられています。また、表情は遠くの一点を見据えているように作品全体を引き締め、気品を漂わせています。形態・描彩両面で細やかな配慮がされており、作者の情熱に感服させられる作品です。

受賞おめでとうございます  
市内の受賞者 (敬称略)



- |            |       |
|------------|-------|
| 農林水産大臣賞    | 加賀沼勝子 |
| 国土交通大臣賞    | 柴田 栄子 |
| 中小企業庁長官賞   | 吾妻 節子 |
| 林野庁長官賞     | 渡辺 邦彦 |
| 東北経済産業局長賞  | 新山 吉紀 |
| 東北森林管理局長賞  | 六郷 仁美 |
| 宮城県知事賞     | 加賀沼昌行 |
| 東日本旅客鉄道賞   | 佐々木 功 |
| 仙台商工会議所会頭賞 | 新山 学  |
| 福島商工会議所会頭賞 | 佐々木美穂 |
| 米沢商工会議所会頭賞 | 高橋 達郎 |
| 東北放送賞      | 新山 実  |
| 東日本放送賞     | 鎌田 孝志 |
| エフエム仙台賞    | 高橋とし子 |
| 七十七銀行賞     | 相原 英雄 |
| 白石商工会議所会頭賞 | 佐々木克己 |

消さないで あなたの心の 注意の火

白石市消防団春季消防演習

白石川緑地公園で4月23日、白石市消防団の春季消防演習が行われ、市内8分団から参加した620名の団員が部隊訓練や小型ポンプ操法などを行い、日ごろの訓練の成果を披露しました。演習の締めくくりは、消防団全68班に配備された小型動力ポンプ積載車からの一斉放水。ラッパを合図に68本の水柱が一斉に青空に向かって放たれました。

今年は、市内各所で火災が多発しており、団員の皆さんは緊張した面持ちで演習に臨んでいました。



幽玄の調べを市民に披露

白石城本丸内で「城の会」を開催

白石城本丸内で5月14日、今年で30回目となる「城の会」が開催され、たくさんの人が足を運びました。この日、会場内に設置された特設舞台では琴や日本舞踊、詩吟などが次々に披露されたほか、抹茶席・煎茶席の野点も開かれました。



▲特設舞台で披露された仕舞

会場内には美しい琴の音色や詩吟の歌声が響きわたり、優雅な舞踊や風流な野点など、訪れた人は古典芸能の魅力を心ゆくまで堪能していました。

おいしい牛肉はいかがですか!

白石牧場まつり

福岡深谷の白石牧場で4月23日、白石牧場まつりが開催され、牛肉の試食販売や特産品の販売に大勢の人が足を運びました。

この催しは、牧場を運営する(社)宮城県農業公社が、牧場産の牛肉をPRするとともに、地元の皆さんとの交流を深めようと開催したものです。会場には、購入した牛肉をその場で焼いて食べるのできるコーナーが用意され、蔵王の山々を背景に、たくさんの家族連れなどが焼き肉を楽しんでいました。



伝統の着物に桜が花を添え

「着物を着る会」の皆さんによるお花見

4月18日、市内の着物愛好者でつくる「着物を着る会」の皆さん15名が、桜が満開を迎えた白石城などを散策し、春の風情を楽しみました。

この「着物を着る会」は、かつて女性の日常着であった着物の素晴らしさを改めて認識し、楽しもうと今年3月に結成されたものです。

メンバーの代表、佐藤昌子さんは「6月15日(木)の11時から壽丸屋敷に皆さんが集まりますので、ぜひ、着物を着てお気軽にお越しください。」と話していました。



美しく温かみのある「パンの花々」

壽丸屋敷でパンフラワー作品展を開催

4月21日～23日の3日間、壽丸屋敷で4回目となるパンフラワー作品展が開催されました。



パンフラワーは、小麦粉を原料とする「パン粘土」や油絵の具などを使用して制作するアート工芸で、制作者の創意工夫により、繊細で温かい作品ができることで知られています。会場には山本紀子さんが主宰する教室に通う皆さんが作った、花びら一枚一枚まで丁寧に仕上げられた美しい作品が飾られ、訪れた大勢の人の目を楽しませました。

4月から5月にかけて街中になると、昼と夕刻に「ウォー！」という雄たけびが聞こえてきます。庁舎内にとさらに大音量で響きわたります。そう、白石の春の風物、白石高校の「白角定期戦」に向けた応援練習です。30年前は私もブルーサイドで連日、校歌・旧制校歌・凱歌や応援歌の練習?というより白高魂を体にたたき込まれていました。今ではとても懐かしく聞いています(当時は憂うつでしたが...)。我々のころは、野球、陸上、水泳、テニス、バレー、バスケット、卓球、柔道、そして剣道の9種目での戦いでした。私は剣道部に所属していたので、夕方の応援練習は免除。ひたすら「打倒角田」で練習に明け暮れていました(というものの、白高剣道部は私が卒業するまで勝つことがで

きず、定期戦開催以来16連敗という記録を作ってしまったが(…)。この定期戦は、諸大会とは違い、独特の雰囲気を出しています。自分の競技だけではなく、開催校全体が異様な熱気と興奮に包まれます。各競技が終わり、白

から「勝利」という目標に向かい、協力し行動をする素晴らしい大会です。宮城県教育委員会の県立高校将来構想の中で、平成22年度までにすべての県立高校の共学化が示されています。白石高校と白石女子

り、是非・善悪を弁別する心の作用を表す文字です。学校での教育や学習経験、実生活を通じた体験が「智」を成熟させていくのだろうと思います。新たな高校は、両校の伝統と歴史を土台とし、男女それぞれの立場を尊重しながら宮

人はです。話は変わりますが、「ラオ屋」という商売を知っていますか?昭和30年代までは街角で時々姿を見掛けたそうですが。

風間市長の「虫のナニヤキ」 「智」

高勝利の時に歌われる「勝利の歌」や「凱歌」の輪に入れることが最大の喜びに変わるのです。そして閉会式で相手校の健闘をたたえるエールの交換を行い、定期戦は幕を閉じます。この戦いは、競技者もそうでない者も共に汗をかきな

高校も22年度に統合共学化が開始され、新たに校舎を造ることが発表されました。「智」とは、矢のようにズバリと言いつつ、という意味の「知」に「日(言う)」が加わり、物事を的確に理解したり言い当てた

城県の核となるよう、生徒たちの叡智を結集して、新たな伝統・歴史を築き上げてほしいと切望します。特に昨年共学校となった角田高校との定期戦は、両校の生徒たちのためにも残してほしいと願う一

